

編集・発行：◎倉敷芸術科学  
大学図書館 (〒712-8505  
岡山県倉敷市連島町西之浦  
2640 TEL. 086-440-1181  
FAX. 086-440-1182)

編集・発行責任者：  
館長 時任 英人  
(芸術学部教授)

館報は図書館ホームページ  
でも読めます。  
[http://www.kusa.ac.jp/lib/  
MAIN.HTML](http://www.kusa.ac.jp/lib/MAIN.HTML)



倉敷芸術科学大学図書館報

# 学 而 思

(がくじし)

## 題号の由来

孔子と弟子たちの言行を取録した「論語」の「子曰、「学而不思則罔。思而不学則殆。」(「先生が言われた、「学んでも考えなければ、はっきり理解できない。考えても学ばなければ、確かなものとならない」の意)による。読みは日本語の音読みとした。初代学長故谷口澄夫先生の筆による。

あらゆる情報がデジタル化され図書館は大きな変革期を迎えています。今年も、電子図書館の可能性や図書館が抱えている課題等を審議し、国民的・文化的レベルを高め、社会の発展を支える重要な機関である図書館のあり方を考えるための全国図書館大会が10月26日から28日まで茨城県で行われました。第91回を迎えます。

「図書館」は何処にでもあり、しかも誰もが気楽に利用できる私たちに最も身近な施設ですが社会的には今ひとつ目新しいものが感じられないのが現状だと思います。ここでは、問題を絞って、今まで体験してきた、大学図書館について少し述べてみます。

### 1. 大学設置と図書館

ご承知のように大学と図書館は密接な関係にあります。普通どのような形で図書館が作られているかを述べてみます。大学を創設するとき、大学の設置構想の概要を中心に、具体的な予算、施設設備等膨大な資料を揃えて文部科学省へ申請しなければなりません。

特に、施設、設備の中では図書館、医務室、学生自習室、学生控え室、コンファレンス室等は最も重要な要件です。しかし、書類は、教員スタッフ、教育課程等と同時に作成して申請しなければなりませんから、どのような図書、文献資料を用意するか、またどのような図書館にするのかについて教職員との連絡調整もいままま準備が進められていきます。

そして、まず、書類審査の

## 大学設置と図書館

(古くて新しい図書館問題)

後、面接審査が行われ、それに合格したあと現地調査が行われます。現地調査では図書館については学部に基づいた図書がどのように確保されているか、学術雑誌、視聴覚資料の整備状況はどうか、資料収集の整理、提供方法等はそのように行われるか等への対応を考えていかなければなりません。しかし、専任の教

員も決まらないうちに、充分とはいえないまでも相当の蔵書を整えなければなりませんので、当然大きな民間等の書店の力を借りて関係図書を購入することになります。従って実際に開学したあと備え付けの蔵書には何十年も一度も開かれたことのないようなものもあります。



学 長 添 田 喬

大きな条件になりますので申請者は特に気を遣っています。過去の大学設置申請で次のようなことがありました。現地調査で図書を書架に沢山並べていたのですが、その中に、見た目を増やすため空箱を並べていたのがありました。意識的においたのが指摘され、折角準備した大学の開設が駄目になったことがあり

ました。それだけに図書館は重要なのですが、設置の段階ではいわゆる員数あわせのようなどころがありました。

### 2. 発足後の大学図書館

大学が発足しますと、図書館は最も重要な施設設備の一つになります。図書館長、事務職員、専門職員が発令され、教職員、学生に最も親しまれる図書館の整備にかかります。学内的には、学生中心に、図書の貸し出し業務、利用時間、閲覧室、一般図書、専門図書等図書館の整備、各学部(教員研究室)等の図書室との関係、対外的には他の図書館との協議等が山積しています。しかし、正直の所、図書



岡山理科大学を設立したときのお祝いの会で(広島文理大数学科幾何学講座の同窓生と) 前列右より2人目が添田学長、左端が加計学園名誉理事長・総長

昔の哲学者達の手記を見ると、「学生時代、毎日下宿をでて大学へは行くものの、授業へは出席しないでまっすぐ図書館へ行って朝から晩まで過ごした。図書館の事務職員とすっかりなじみができて定年後の今でも交流が続いている。子供の結婚式にも仲人をしてもらった」と言うような記事があります。また、本屋から金を出してもらってギリシャ語の文献の翻訳をしたり、留学の旅費を出してもらったこともあったようです。

館は直接学生を抱えていませんので、予算的に厳しい面があります。

館は直接学生を抱えていませんので、予算的に厳しい面があります。

やはりこれからの大学図書館は、受け身の姿勢でなくて、学生の教育研究指導支援以外に生涯学習時代へ向けての産官学の共同事業や卒業生等の生き甲斐対策事業の拠点としてその役割を広げていくのがよいと思います。

### 3 これからの図書館

高度情報社会に対応した近代的な大学図書館のあり方、そのための世界の図書館とのネットワーク等の作り方等はもちろん大きな課題であり重要ですが、ここではこれからの図書館の利用役割について述べてみます。

既に欧米では、一般の図書館はビジネス、医療、法律等が図書館の利用者サービスの柱になっているといわれます(毎日新聞、2005. 11. 6)。また、創業支援塾として、企業相談、ファッションショー、融資紹介を手がけているところもあるようです。

府立中之島図書館では、書架から小説やスポーツ紙をなくし、ビジネス関係の本や名簿・名鑑、社史、専門誌、会社案内などを大幅に増やしたともいわれています。大学図書館は職員のみならず、学生の教育研究活動を支援するためのものですから、まず、教職員学生のための大学にとってのユニークな図書館であることが必要です。

次に、もう一つは開かれた大学としての社会人に役立つ

ためのユニークな図書館であることです。

まもなく、60歳定年を迎える約600万人の企業人が社会へ出てきますが、その方達の才気煥発、実績経験の有効利用等の相談窓口にもなるのではないかと思います。ビジネス支援図書館推進協議会の設置などはその現れではないかと思えます。大学の活性化、地域の活性化、人的交流のために図書館の果たす役割はますます重要になってくると思えます。

すなわち、図書館は(1)上級生、下級生、教職員の交流の場(2)卒業生、学生、教職員の交流の場(3)社会人を中心とした産、官、学共同による生涯学習・実践センターの場とするのが良いのではないかと思います。

現状のままでは、図書館業務に携わっている方々の負担が増えるように見えますので、これからの、大学における図書館の役割を考え、いろいろ工夫して行く必要があるように思います。

現状のままでは、図書館業務に携わっている方々の負担が増えるように見えますので、これからの、大学における図書館の役割を考え、いろいろ工夫して行く必要があるように思います。



Y 「あなたは大原孫三郎さんを知っているかな？」

学生 「ええ知っています。大原さんは倉敷が誇る偉大な人物ですよ。」

Y 「そうだね。ところで、大原孫三郎さんはどんなことをされた方なんだろうね？」

学生 「倉敷紡績の経営者として有名なだけでなく、大原美術館を建てたり芸術家を支援して、日本の芸術の発展に貢献した方だと思えます。」

Y 「そのとおりだね。実は、大原さんは芸術の庇護者だけでなく、労働者の庇護者でもあったんだよ。紡績工場の女工さんたちの劣悪な労働環境を改善するために尽力したり、もっと広く労働問題を研究する研究所を作ったりしているんだ。」

学生 「えっ、大原さんて経営者なのに社会主義者なんですか？」

Y 「結果的に社会主義者の研究を支援したことになるかもしれないけれど、社会主義者ではないと思うよ。労働者の労働環境が改善されて作業の能率が向上すれば、企業の利益が増えるだろうという経営者としての視点もあったと思うよ。岡山の孤児院に資金を提供していたことも考慮すると、社会主義というよりも人道主義的な気持ちからの

活動であり行動だったと思うよ。」

学生 「ところで、先生。大原さんと『最近の私の研究』とはどのような関係があるんですかあ？」

Y 「あ、ごめん。ちよっとまわりくどくなっちゃったけど、私の研究テーマは、『途上国の飢えと貧困の問題を解決するにはどうすればよいか』で、若いころ私も人道主義的な気持ちからこのテーマの研究に入っただ。もちろん、私は大原

さんと同列に論ずることができないような立派な人間ではないけど、大原さんの志をささやかではあるが継承したいと願っているんだ。」

学生 「で、どんな本を書かれたんですか？」

Y 「一般向けのわかりやすい経済の本を2冊ばかり出しているが、さきほどのテーマに関連しては『経済発展と農工間関係』という専門書を2002年5月に大学教育出版から出版しているよ。この本は、過去に『農

業経済研究』、『開発学研究』、『国際開発研究』という学会誌などに掲載された私の論文を集めたものだ。途上国の経済が発展するとき農業部門と工業部門の間でどのような資金の移動があるのか、また発展を加速させるためにはどのような資金の移動が必要なのかに関する理論を提出し、戦前日本などを対象に実証分析したものだ。」

学生 「でも、先生って起業学科の所属ですよ。先生の



### 最近の私の研究

起業学科 教授

山下 景秋

た。汚染された水を飲まざるをえない途上国の多くの人たちは、それが原因で下痢になったりして死んでいる。児島湾の水質改善などの経験がある県内企業がこの装置を安価な価格で提供できれば、途上国に貢献できるばかりかこの企業の売れ行きも向上するわけだね。水質改善だけでなく、安価な中古の耕耘機を途上国に販売する、ということも考えられるよ。

この委員会において検討されたことは、『岡山県における国際協力・貢献産業の創出調査報告書』として平成17年3月に中国産業活性化センターから出版されているよ。

またこれとは別に、私は最近『倉敷芸術都市構想』という提案を発表した。これは、倉敷市が美術と音楽を中心とした芸術都市となり、映像産業などを創出してはどうかという提案なんだ。

このように、企業を作るだけでなく新産業を作りだすことも起業学科の役割だということだね。

芸術都市構想の方も、ささやかではあるけれど大原さんの意志を引き継ぐものであるといえるかもしれないね。」

Y 「2004年に岡山県庁や岡山経済界の人たちが参加する『岡山県における国際協力・貢献産業の創出調査』委員会(委員長山下)が作られた。途上国に対する貢献にもなりなおかつ岡山県経済の活性化につながる産業を作れないか検討してくれというのだ。検討の結果、たとえば水を浄化する装置を県内企業が作れることが明らかにな

# 学びの窓

## 学生達の今



### 本との出会い

芸術学部 美術学科  
4年 倉岡 一誠

世の中にはたくさん本がある。用途や目的に応じたジャンルが存在し、百科事典のようなものから分類できない趣味的なものまで、実に幅が広い。その中で死ぬまでに何冊くらいの本と出会えるのか？ 図書館に來ると、いつものように思う。たとえば好きな小説家の本を探すのは楽だが、まったく知らない作家の本は探し方が無い。ところが、そういう本があふれている。そういう未知の領域の中にはつまらない本もあるだろうし、そこそこ面白いものもあるだろう。もしかすると自分を決定的に変えてしまうような本もあるかもしれない。しかし、ピンポイントで自分にあった本を見つけるのは難しい。やはり読んでみると分かることが多く、うわさはあてにならない。そこで私は出会いの瞬間を大事にすることにしている。



### 冷静に物事を考える時間

芸術学部 工芸学科  
4年 中山 佳子

私は図書館が醸し出すあの独特の雰囲気が好きだ。私にとって図書館はただ学習や研究に必要な情報を集めるだけではなく、一人になって冷静に物事を考える時間を与えてくれる。そのことに気づいたのは大學生になってからである。一期、自分が専攻しているガラス工芸に対して自信をなくし、何のために大学へきたのか悩んでいた頃があった。毎日が忙しく自分が進むべき道が分からなくなっていたのである。そんなとき、図書館にある幅広いジャンルの本を読むことで視野が広がり、客観的に物事を考えることで今の自分には何が必要なのが見えてきたのである。そして、本を読むということは、人生の参考書を読むということになると気づいた。

それ以降、私は何か考え事をするときは必ず図書館に行き、それは、自分が問題としている事を解決してくれるヒント(本)がたくさん潜んでいるからだ。しかし、それを活かすも殺すも自分の探求心にかかっていることを忘れてはいけない。問題を解決してくれるヒント(本)は見つけださなければ何も意味がないのだ。そのヒント(本)を見つけ出す為にとっても役立つ味方がいる。それはレファレンスコーナーの方である。ここでは自分が知りたいこと、調べていることを言うとそれに合った資料を探してくれる。近年、このコーナーが多くの図書館にできてきている。このように図書館の役割が少しずつ変化していることを知る事も、問題を解決するためには重要な知識であると思う。



### 私を高める

芸術学部 美術学科  
3年 堀口 香織

私は本を読むのが苦手である。本学に入学する直前は、もう大學生になるのだから授業以外にもたくさん本を読んでも、世の中を知り、いろんな著者の考えを知り、自分の意見を持ち持とうなどと思っただけで、読む速度が遅いせいもあって、本を読むのは苦勞してしまふ。だが、好きになりたいと思う。

私は絵を描いており、自分の絵について十分な説明ができるようになりたい。そのため、なるべく多くの知識や用語を必要とし、たとえば他の作家はどんなコンセプトを用いて制作しているのかなどと考え、自分と比較してみたりする。そんな私にとって不可欠なのが学校の図書館である。そこには、多くの画集、美術雑誌があり、私はほとんど毎日、図書館に行つてはそれらを開く。美術雑誌に掲載されている作家の制作意図だけは進んで読んでいた。後は絵を眺めたりして模索し、時には頭の片隅で展開してみたりする。図書館は、多くの知識が入手できるため、自分を高めるための大事な宝庫である。人は考える際に、情報が必要となるが、人の話だけでは十分ではない。情報を本で読んで補い、深く知ること、それを新たな情報として発信する。少しずつではあるが、本を読んで多くの考えを整理し、自分の考えも整理していきたいと思う。



川村康之著「クラウゼヴィッツの戦争論」(ナツメ社・2004年)  
国際教養学部 教養学科  
3年 原田 健太

冷戦が終結し、米ソの全面衝突の危機が回避される一方では、世界各国で紛争やテロが多発しているのが現在の国際社会ですが、そうした状況下では、安全保障がより複雑になったと指摘されていることが多いようです。

このような安全保障問題を理解するための入門書として、クラウゼヴィッツの『戦争論』を現代の問題状況下において分りやすく解説した本書を読む事にしました。

本書ではまず戦争の定義を「相手に自分の意思を強要するために力を用いた行為」と述べていますが、この川村氏の定義からみると暴力を躊躇する事なく行使した側が戦争に勝つという事になります。ただし、暴力で一方が完全に相手を打倒する「絶対的戦争」はあり得ないのですが、その理由は戦争は政治に從属しているためで、これは政治的要因に大きく影響を受けることになると考えられるからでしょう。しかし、これこそが「現実の戦争」だと著者は言います。

それで、本家本元のクラウゼヴィッツは、「戦争とは他の手段を持つてする政治の継

ドクトリン)にもとづいて展開されたために、その後のパナマ侵攻、第一次湾岸戦争では勝利することができたようです。

クラウゼヴィッツの『戦争論』自体は約170年前に書かれたものですが、現在でも政治と軍事の関係を考える際には、重要な必読文献となっております。



### 専門書が増えたなあ

産業科学技術学部 生命化学科  
3年 難波 令匡

続であり、政治目的を達成するための手段である」と言い切っているのですが、この視点から著者は、戦後のアメリカの戦争を具体的にみています。まず典型的なのは、ベトナム戦争です。圧倒的な航空戦力をもってしてもアメリカは北ベトナムという小国に勝てなかつたのですが、これはクラウゼヴィッツの先ほどの言葉を十分理解していなかつたことが原因としてあつたように、つまりアメリカは戦争目的を定めず、政治家がもつ「冷戦」というイメージや古典的な戦争観だけで戦つたことが原因のようです。

このことから、アメリカはレーガン政権のワインバーガー国防長官の下に戦争を研究し、つぎの六つの条件を導き出しました。①アメリカまたは同盟国の死活に関わる利益が危機にさらされている事、②十分な戦力を使用し意思表示ができる事、③政治・軍事目標がハッキリしている事、④政治・軍事目標が常に見直される機会がある事、⑤世論が部隊の投入を支持している事、⑥戦闘は最終手段である事。

この考え(ワインバーガー

てます。

戦争を研究する事で、より安定した安全保障が確立され、私たちの日々の平和な生活が保証されるのですから、『戦争論』は有益な視点を提供してくれるようです。そして、この本家本元が容易に理解しがたい場合には、本書をお勧めしたいと思います。

私がまだ入学したての頃の図書館には医療系の図書や雑誌はほとんどありませんでした。医療コースがまだできたばかりだったので仕方ないことではしたが、いったいどうなることかと若干不安に思っていました。それが時が経つにつれ、一段増え、二段増え、続々と新しい専門書が入ってきて、以前あつた書架の間隔はみるみる埋め尽くされていきました。ちよこちよこ図書館を利用するものとしては非常にありがたいですし、真新しい背表紙を見ているだけでも、なにか頭が良くなつたかのような錯覚に陥ります。入学時から恵まれた図書環境にいる1、2年生がうらやましい。

なにか印象に残つた本の紹介を、とのことだったので、あまり読書家ではないが強い

### 私の読書法

健康科学科  
1年 門利 知美

ジニアとしての感性、チームワークの大切さ、そして人々との出会いの大切さがよくわかりました。

よく「チーム医療が大切だ」と言われます。チームワーク、そして人々の出会いを大切に生きていければと思います。

そのためにもバックボーンは太ければたいほど良いと思います。図書館も利用しつつ知識の蓄積をしていければと思います。

最後になりましたが、より一層の図書館の発展をお祈りします。

私は本を読むのが遅く、1冊の本を読み終えるのにとっても時間がかかります。それはきつと小さな頃からあまり本を読んでいなかつたからだだと思います。読み終えた時、その本の最初の方の内容を忘れていたということもよくあります。

倉敷芸術科学大学の図書館は授業の空き時間や調べるものがある時に利用しています。とても静かなので、集中して作業することが出来ます。私は健康科学科へ所属していますが、まだ体育に関する本が少ないようなので少し残念です。現在図書館に入っている体育に関する本は難しいものもありますが、わかりやすいものがほとんどです。専門的な本も沢山読んで、自分が勉強したいことについての知識も深めていきたいです。

しかし少し前から本を読む時に、その文章によって描かれた状況を頭の中で鮮明にしながらかみ読んでみると読み終えた時に最初の方の内容を忘れていないと知り、今はそのような方法で読書をしていきます。しかし読むスピードはやはり遅く、読んでみたい本は沢山あるのにまだこの本を読み終えていないという状態です。しっかりと内容を掴みより速く本を読めるようになって、一生のうちで1冊でも多くの本に出会いたいです。

本を読むと漢字や言葉の使用などを感じる事が出来る



### それぞれの図書館利用法

生命科学科 1年 藤本 浩樹  
生命科学科 1年 福井 一雄

みなさんは図書館を利用していますか？ ほとんどの人は図書館を利用したことがあ

ると思いますが、テスト前に勉強するために利用するだけの人がほとんどだと思えます。しかし、図書館というところは意外といいところ

です。まず、図書館はとても静かです。勉強したり、読書したり、パソコンでインターネットを使

って調べ物をしたり、次の授業まで時間が空いたときなど仮眠をとったりするに

はうってつけの場所だと思えます。実際私達も昼休みや放課後に勉強したり、パソコンでインターネットを利用したり、仮眠をとったりして

完備されているので、とても快適に利用できます。

図書館にはいろいろな本があります。各学科用の専門的な本、武術や護身術の本、新聞や雑誌、外国語の本など

このように、図書館にはいろいろな利用法があります。ここで挙げたのはあくまでも私達の例ですから、人それぞれ

それに、図書館は冷暖房が

## 近隣文化施設訪問記

### 平山郁夫美術館

レポーター 芸術研究科 2年 角野 友美



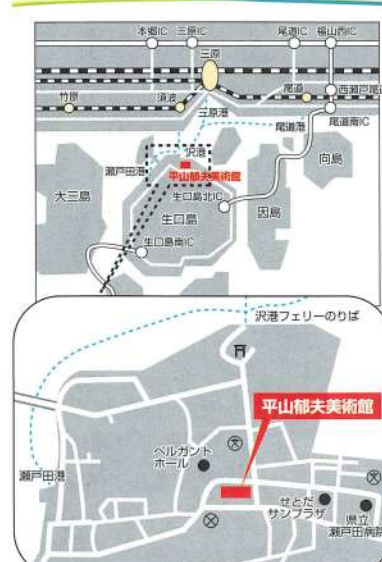
私は現在、大学院修士課程で日本画を専攻し制作活動を行

私が先生の作品と出合ったのは、記憶にないほど幼い頃

平山郁夫美術館は、しまなみ海道(西瀬戸自動車道)が開通するの



### 平山郁夫美術館 案内図



美術館訪問当日は、台風の影響で天候が心配されていた。車の窓から見える、しまなみ海道に

かかる白い橋は、青い空と海、緑の島々に映え大変美しく思

平山郁夫美術館には特に注目されるコレクションが2つある。1つは、完成した本画

# 倉敷芸術科大学生読者

直木賞作家

出づる根蓮郎



あなたは、日記をつけますか？ 別に付けなくても構わないのですが、付けた方が毎日の生活に張り合いがありますよ。その日の自分の行動を確認する。何年かたつと、きつと、あの日に自分がしていたことを細かく思いだしたくなる。記憶というものはあいまいですから、その時、日記の数行が当日の行動を再現してくれます。何より日記を付けることで、1日のけじめがついて、気分が一新する。

日記の隅に、読み終わった本の名と著者名を、書き留めることをお勧めします。本の感想を記す必要はありません。読後感想文というのは何度か書いてるうちに、誰かに強いられる

## 「日記に本を」

面白かったこと、あるいは、つまらなかったことなどを、ありありと思いだすはず。あの頃はこんな本に夢中だったのか、と一種なつかしくなる。読んだ本、というのは、自分の成長の跡なのです。何をしていたか、というより、何を読んでいたか、を見る方が、思想形成のプロセスを、なまなましく検証できます。読んだ記録を残すことは、自分の知識の蓄積を、具体的に知ることです。出来事の思い出は鮮明だけれど、何を考えていたかの記憶は、無いものです。読んでいた本で、再現できます。本は著者の思想だけれども、その本を選んで読んだあなたの思想でもあります。読者は著者でもある。少なくとも読んでいる間、著者と同じです。著者の目で見るわけですから。

読後感を記すのを止めるわけではありませんが、これはあとで読み返すと、大抵いやになるのです。自分の幼さが目立ってしまう。昔の日記に、本の名が出てくると、なつかしいものです。

## 「図書寄贈者(個人)」

図書の寄贈を受けました。厚くお礼申し上げます。

- 下田 義寛 古谷 英一
- 吉田 幸二 船倉 武夫
- 土井 章 草野 圭弘
- 田中 秀松 鶴野 淳弼
- 生谷 吉男 橋本 利夫
- 佐藤 恒夫 黒田 哲也
- 岡田 誠司 渡邊 さよ
- 池田 陽子 河野 申
- 濱坂 渉 山崎 宏暉
- 中村 千枝子 田井 元巳
- 瀧脇 千恵子
- 奥谷 直己
- 森元 辰昭
- 鈴木 陽之助
- 佐藤 泰江
- 奥田 美知子
- 管紀 浩
- 神原 正明
- 畑 正高
- 保田 美佐子
- 浅沼 圭司

(右敬称・書名略、寄贈順、お名前の方にさせていただきます)

## 図書館

### 05 3月23 学位記授与式

- 4月1 人事異動図書館
- 5 入学宣誓式
- 21 第53回中国四国地区大学図書館協議会総会出席(山口大学当番校)(時任館長・松葉室長代理)
- 22 私立大学図書館協会西地区部会中国・四国地区協議会2005年度総会(セントコア山口)(時任館長・松葉室長代理)
- 17 私立大学図書館協会2005年度西地区部会総会出席(沖縄国際大学当番校)(松葉室長代理)
- 20 岡山県大学図書館協議会平成17年度第1回総会出席(岡山大学当番校)(松葉室長代理・渡邊館員)
- 14 LIMEDIO seminar for
- 5 近畿圏に出席(大阪)(近藤館員)
- 15 広島大学図書館公開研修発表会に出席(広島大学)(近藤館員)
- 26 岡山県大学図書館協議会平成17年度第1回研修委員会出席(岡山大学)(渡邊館員)
- 5 第92回全国図書館大会岡山大会第1回分科会検討委員会出席(岡山県立図書館)(松葉室長代理)
- 26 第66回私立大学図書館協議会総会・研修大会出席(岡山大学当番校)(松葉室長代理)
- 27 29 大学図書館問題研究会第36回全国大会へ出席(広島)(渡邊館員)
- 9月2 第92回全国図書館大会岡山大会第2回分科会検討委員会出席(岡山県立図書館)(松葉室長代理)
- 10 図書館報記事近隣文化施設訪問取材の為平山郁夫美術館訪問(生口島)(時任館長)
- 27 公立大学協会図書館協議会中国・四国地区協議会主催平成17年度研修会出席(岡山)(近藤館員)
- 28 第2回図書委員会開催
- 29 岡山県大学図書館協議会平成17年度第2回総会出席(岡山大学)(松葉室長代理)
- 29 [L'etablissement] 発表会受講(岡山)(近藤館員)
- 30 1私立大学図書館協会主催2005年度西地区部会研究会出席(日本福祉大学当番校)(國正館員)
- 5 平成17年度図書館業務研修会への出席(岡山)(松葉室長代理)
- 6 第35回私立大学図書館協議会中国・四国地区研究会出席(就実大学当番校)(渡邊館員)
- 12 14 平成17年度図書館職員著作権実務講習会(東京)(近藤館員)
- 13 第92回全国図書館大会岡山大会第3回分科会検討委員会出席(岡山県立図書館)(松葉室長代理)
- 18 19 第46回中国四国地区大学図書館研究集会出席(香川大学当番校)(渡邊館員)
- 25 国公立大学図書館協力委員会主催平成17年度シンポジウム出席(慶応大学)(松葉室長代理)
- 26 平成17年度第91回全国図書館大会参加(水戸)(松葉室長代理、渡邊館員)
- 8 岡山県大学図書館協議会平成16年度第3回(通算23回)研修委員会出席(渡邊館員)
- 16 第92回全国図書館大会岡山大会第4回分科会検討委員会出席(岡山県立図書館)(松葉室長代理)
- 22 岡山県大学図書館協議会第26回研修会(岡山大学)(渡邊館員)
- 9 第1回大学図書館員のためのスキルアップセミナーへ出席(岡山大学)(渡邊館員)
- 15 第92回全国図書館大会岡山大会第5回分科会検討委員会出席(岡山県立図書館)(松葉室長代理)
- 16 17 平成17年度著作権セミナーへ参加(高松)(松葉室長代理)
- 19 第92回全国図書館大会岡山大会第6回分科会検討委員会出席(岡山県立図書館)(松葉室長代理)

